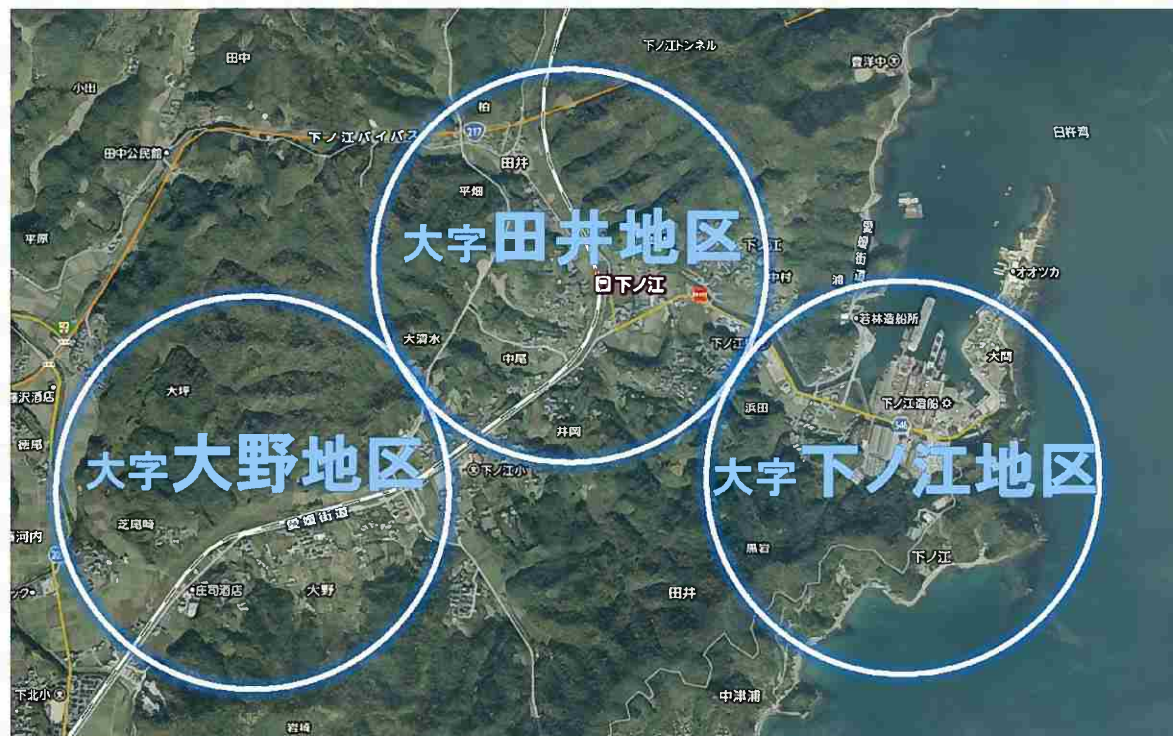


下ノ江地区防災士連絡協議会の 活動について

下ノ江地区防災士連絡協議会
会長 安東 賢友

下ノ江地区の概要

- ・白杵市街地より北東部に位置し、海と山に囲まれた地域で、大字下ノ江、田井、大野の3地区で構成され、718世帯、1,669人が生活している。
造船業が盛んな地域で、日中は4社に約500名の従業員が働いている。



下ノ江地区における災害

下ノ江地区で過去に発生した災害は、台風による高潮による冠水や、河川の増水による浸水などがある。また、大雨による熊崎川の増水により、道路の冠水なども起きているものの、これまでに大きな災害が発生したことがない地域である。

- ・ 急傾斜地崩壊危険箇所 38箇所
- ・ 土石流危険溪流 6箇所

自主防災組織

- ・ 下ノ江地区には3つの大字地区に11の行政区があり、全ての行政区で自主防災組織が結成されている。



構成世帯	最大	100世帯	／最少	16世帯
構成人口	最大	332名	／最少	43名

地域の防災リーダー

平成24年7月28日、29日

白杵市で行われた防災士養成研修を受講し
防災士としての資格を取得する。



防災士連絡協議会の設立

平成25年3月14日

平成25年度以降の下ノ江地区における防災対策（連絡協議会設立）等について、市役所より説明を受ける。

平成25年4月24日

下ノ江地区防災士連絡協議会設立総会

- ・会員数 21名 うち女性3名（臼杵市で最初）

【平成27年1月現在の会員数24名 うち女性5名】

- ・会長、副会長の他に研修部長、広報部長を設け研修の企画、広報紙の発行などを行う

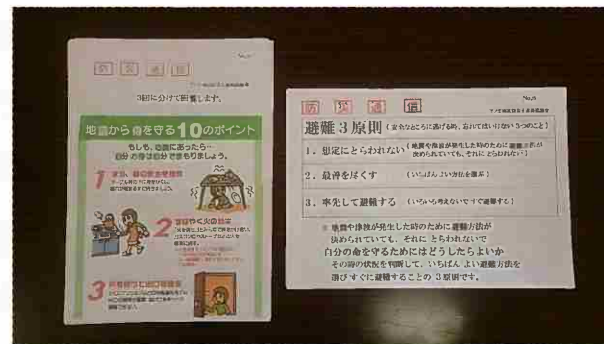
目的

- ①防災士としての知識及び技能を向上
- ②地域での防災士相互の連携を図る

これまでの取り組み①

平成25年度

- **スキルアップ研修**
応急担架作成、ロープワーク、
消火器の取扱い、土のう作成
- **1日体験研修**
福岡市民防災センター
- **防災通信の発行**
地域住民の防災意識向上のため、
広報紙を発行
- **津波避難行動計画**
説明会、D I G、現地調査を実施し
下ノ江地区津波避難行動計画を作成
(平成26年10月完成、全戸へ配布)



これまでの取り組み②

平成25年度

- ・ 下ノ江地区総合防災訓練

白杵市で初めてとなる、防災士主導型の訓練を実施



これまでの取り組み③

平成26年度

- **スキルアップ研修**
段ボールトイレ作成、
三角巾の取扱い、気象研修など
- **被災地視察研修報告会**
白杵市防災士会が行った東日本
大震災の被災地（岩手県、宮城
県）視察の報告会
- **津波避難行動計画配布**
全戸へ配布



これまでの取り組み④

平成26年度

- **田井地区、JR九州合同列車乗客避難誘導訓練**
「津波防災の日」にあわせ、地震・津波の発生を想定しJR九州大分支社と下ノ江地区（下ノ江地区防災士連絡協議会）が共同で列車乗客を地区の指定した高台への避難誘導等を実施。（訓練参加者数 約200名）



今後の課題や取り組み

1. 地域の防災意識の啓発促進
2. さらなるスキルアップのための研修実施
3. 年一回の防災避難訓練の実施
4. 地域消防団と連携を密に

ご清聴、ありがとうございました